

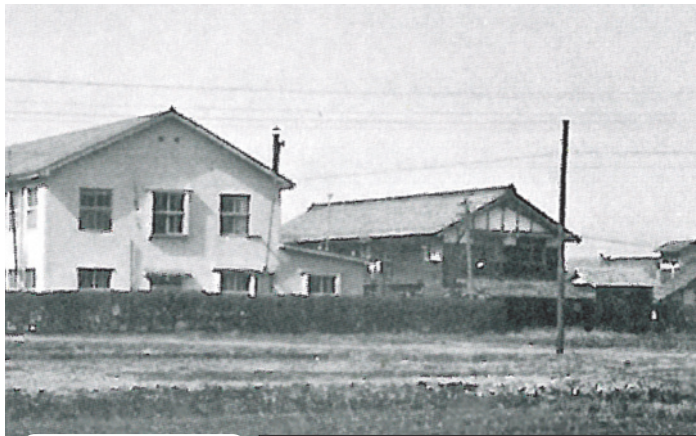
ふれあひ

発行日 ● 平成21年1月

発行者 ● JA岐阜厚生連 中濃厚生病院 広報委員会

中濃厚生病院だより

No. 58



昭和23年頃の病院



昭和44年頃の病院



平成12年全面移転した病院

中濃厚生病院の理念

みんなの安心、みんなの信頼、みんなの希望
私たちは「安心」「信頼」「希望」のある医療をめざします。

患者さんに「安心」を

いかなるときも差別をなくし、人権とプライバシーを尊重します。
十分な説明と納得のいく医療サービスを心がけます。
快適な環境をととのえ、こころを尽くしてお世話します。

地域社会に「信頼」を

さまざまな機関との連携をすすめ、開かれた病院をめざします。
救急・予防・リハビリテーションまで地域に必要な医療を提供します。
常に新しい知識と技術の集積につとめ、高度医療に取り組みます。

あしたに「希望」を

医療と福祉の実践をとおして生きがいにみちた生活を支援します。
利用者と職員の希望をはぐくむ職場づくりをすすめます。
和を大切にし一丸となって地域医療の発展に努めます。

特集:病院創立60年の歩み



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

年頭のご挨拶



J A 岐阜厚生連
経営管理委員会会長 上 松 忍

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、本会事業につきまして、格別なるご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成21年の年頭にあたり、皆様に一言ご挨拶申し上げます。

アメリカのサブプライム問題に端を発した金融不安から、昨年より世界経済は大幅に後退しており、日本経済も先行きは不透明な状況となっております。

また、医療環境においても少子高齢化が進み、非常に大きな変貌を遂げようとしております。特に、医療制度改革が行われている環境下において、医師不足が続くなか、「病院」「診療所」がそれぞれ独自の機能に合った運営を求められる時代となってまいりました。

昨年度の診療報酬改定では、産科・小児科診療の充実及び後期高齢者医療や在宅療養の推進に関わるもの、並びに7対1入院基本料他の見直しなどの一方、薬価や検査料の引き下げで、全体としては4回連続の引き下げとなっております。また、地域の中での各医療機関の役割や機能を県が策定する岐阜県保健医療計画も提示され、本会の運営にも大きく影響を及ぼすものと考えられます。

このように、医療を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、病院運営はこれら困難な状況に対応していくことが求められております。本会としては、職員の専門スキルの向上などソフト面での充実並びに安全・高度・良質な医療を提供していくための施設設備及び医療機器の更新を引き続き行なうことにより、地域医療への貢献を推し進め、併せてコンプライアンス態勢等内部統制の強化に努め、皆様に信頼され求められる病院づくりに取り組んでいく所存であります。

最後になりましたが、本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう心から祈念いたしますとともに、本年におきましても、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成21年 元旦

年頭のご挨拶



院長 田 中 孜

明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は本院の医療事業に格別のご支援、ご協力賜りまして厚く御礼申し上げます。

本院は、昨年4月から夜間の救命救急センターの混乱を回避するため、関市並びに武儀医師会のご協力を得て、「初期夜間急病診療支援室」を開設し、救急医療の充実を図ってまいりました。また5月には病院機能評価更新がなされ、6月には病院北側に「放射線治療室」、「化学療法室」、「研修センター」などの施設が含まれる新棟が竣工し、7月から外来化学療法が、10月からは放射線治療が開始され、現在順調に稼動しています。特に今回導入しました放射線治療機器はバリアン社製リニアック「Clinac iX」で、県下最新鋭の装置です。更に昨年初めまで制限していました産科医療も、5月から制限が緩和され、現在月20人以上の「赤ちゃん」が誕生しています。

このように各方面のご協力を得ながら、医療整備を進めてまいりました。また本年4月からは新たに7名の臨床研修医が本院にて初期研修を行う予定です。

全国的に「医療危機」「医療崩壊」が深刻な問題になっていますが、本院は引き続き「安心して受診でき、納得した医療が受けられる病院」を目指して職員一同精進してまいります。本年もご支援、ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成21年 元旦

病院創立60年の歩み

- 昭和22年12月 ・ 関係地元27町村農業会の熱望と協力により病院開設の許可を受ける
- 23年 1月 ・ 岐阜県産業会中濃病院として開院（5診療科、病床数37床、職員数41人）
- 8月 ・ 岐阜県厚生農業協同組合連合会設立により、**岐阜県厚生連中濃病院**と改称
- 26年 9月 ・ 診療部門を中心とした本館を新築（病床数71床）
- 29年 7月 ・ 病床増築（病床数計100床）
- 32年 3月 ・ 病床増築（病床数計150床）
- 35年 3月 ・ 僻地小川診療所を開設
- 32年 8月 ・ 2階建病棟増築、X線検査部門を設置（病床数計155床）
- 38年 4月 ・ 第2准看護学院を開設
- 39年 4月 ・ 関市隔離病舎（23床）を併設（病床数計178床）
- 6月 ・ 3階建手術棟を新築、併せて病床を増築（病床数計206床）
- ・ 看護婦宿舎を新築
- 41年 8月 ・ 本病棟改築に着手。鉄筋5階、地下1階建（第1期工事）
- 42年 9月 ・ 診療棟、管理棟改築に着手（第2期工事）
- 43年 5月 ・ 病棟の増築に着手（第3期工事）
- 44年 1月 ・ 全面的増改築完了（病床数計297床）
- ・ 小児科開設
- 3月 ・ 総合病院の許可を受ける
- 49年 4月 ・ 人間ドックを開始
- 50年 8月 ・ 人工透析開始
- 12月 ・ 救急医療機関の指定を受ける
- 53年 4月 ・ 岐阜県僻地中核病院の指定を受ける
- 7月 ・ 手術棟、北病棟を増改築（病床数計306床）



昭和32年増床後の病院



昭和38年頃の病院



昭和44年頃の病院



公用車

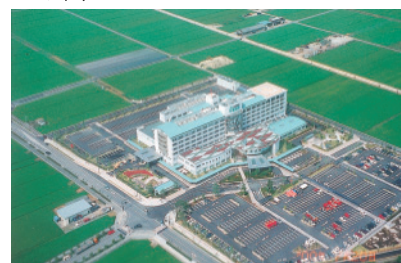
- 昭和54年8月 ・ 保育所を新築（みどり保育所）
- 61年4月 ・ 脳神経外科を開設
- 63年3月 ・ 僻地小川診療所を明方村へ移管
- 平成6年10月 ・ 眼科の常勤化をはかる
- 7年2月 ・ 結核病床9床とする
- 9月 ・ 泌尿器科の常勤化をはかる
- 11月 ・ コスモス訪問看護ステーション開設
- 8年5月 ・ 一般病床44床を増床（病床数計335床）
- 11年11月 ・ 居宅介護支援事業所の許可を受ける
- 12年5月 ・ 新病院、救命・救急センター竣工
- 8月 ・ **新病院を開院、救命・救急センターを開設**
（病床数計322床、一般病床296床、救命20床、感染6床）
- 15年6月 ・ 一般病床14床を増床（病床数計336床）
- 7月 ・ 財団法人日本医療機能評価機構の認定を受ける
- 10月 ・ 管理型臨床研修病院の指定を受ける
- 16年3月 ・ 一般病床10床を増床（病床数計346床）
- 17年2月 ・ **中濃厚生病院と名称を変更**
- 3月 ・ 一般病床25床を増床（病床数計371床）
- 12月 ・ 一般病床12床を増床（病床数計383床）
- 20年4月 ・ 初期夜間急病診療支援室事業の実施
- 6月 ・ 放射線治療棟を竣工。外来化学療法室の開始
- 10月 ・ 放射線治療の開始



建築中の新病院



竣工式



病院全景

病 院 長

初代	坂 堂 兵 庫	S 23.01～25.08
2代	小 島 国 康	S 25.09～54.07
3代	加 藤 元 義	S 54.08～05.07
4代	端 山 和 雄	H 05.08～11.05
5代	田 中 孜	H 11.06～